

1. 一括加工処理ツール

写真の管理に便利な一括解像度変換や一括自動補正・一括ファイル名変換の[一括処理]を行うことができます。一括解像度変換は学校で一番使用される解像度の値をテンプレートにしており、一括自動補正は学校環境での撮影シチュエーションを考えた補正効果が自動で掛かります。一括ファイル名変換はサーバや記憶媒体に保存している大量の写真を整理するときに便利です。

日頃、撮りためた写真をまとめて整理をするときに活用できるツールになっています。

2. 写真の加工

撮影時に明るさや角度などの調整がうまくいかなかったときに行う写真加工ツールです。

明るさやホワイトバランスなどの補正ツールは写真に生き生きとした表情を持たせ、生徒の活動の様子を忠実に再現することができます。このような写真加工ツールを搭載しているので、先生方も写真の撮影時は失敗を恐れずに大切な瞬間を思いっきり撮影することができます。

3. 校務資料の制作

校務の ICT 化を支援する先生のための画像編集機能をご紹介します。

普段行っている学級通信やプリントやホームページの作成などの画像作成に活用することができます。

生徒の活動の様子を伝えるための写真やシーンを伝えるための写真は個人情報の問題が必ずついてきます。

そういった問題を解決するための写真加工の術を記載しています。

その他、学校ポスターや校務用名刺の作成方法など先生方のニーズをすべて叶えることができます。

4. 教材の制作

授業の ICT 化を支援する生徒と先生のための教材作成を行うことができます。

最近ではホームページの情報を活用した授業が増えています。教材となる Web ページを必要な部分だけ切り取ってまとめることで電子黒板で活用できる教材を作成することができます。

また、授業で配布するプリントやテスト問題などに活用できる[白地図]作成や参考書のデータをデジタル化するスキャナーを活用した教材作成方法などの術を掲載しています。



1280×960



320×240

▶ 詳細

■ 校務効率化

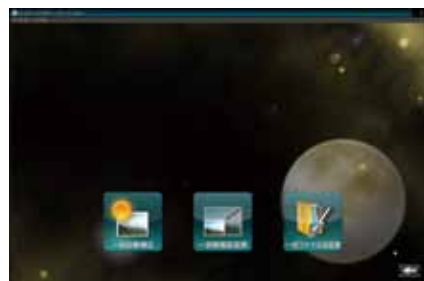
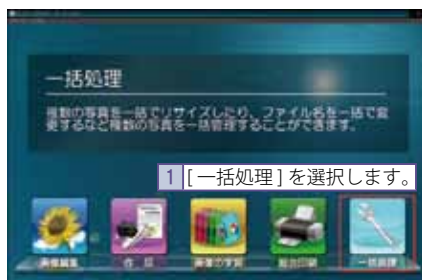
パソコンに取り込んだ複数の写真を一括でリサイズすることができます。

画像の品質を良くするためにカメラの性能が日々進化しており、それに伴い画像の解像度も高くなっています。しかし、パソコンに掛かる負荷が大きく記憶媒体に入る画像の枚数は減る一方です。

そんなとき、画像の解像度を用途によって調整することで負荷もかからず、記憶媒体に入る画像の枚数を増やすことができます。その処理を一括で行うことができるのが [一括解像度変換] 機能です。

一括処理モードを選択しよう

- 1 スタートアップスクリーンから [一括処理] を選択します。



一括解像度変換を選択しよう

- 1 一括処理から [一括解像度変換] を選択します。

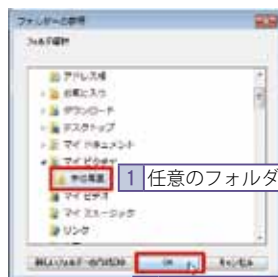


入力先フォルダーを選択しよう

- 1 [入力先フォルダー] を選択します。
- 2 [フォルダーの参照] ウィンドウが表示します。



あらかじめパソコンに保存している画像フォルダーを選択します。



- 2 [OK] をクリックします。



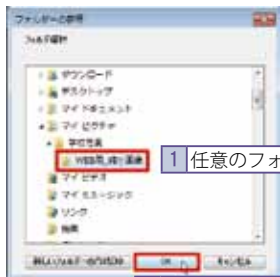
出力先フォルダーを選択しよう

- 1 [出力先フォルダー]を選択します。



- 2 [フォルダーの参照]ウインドウが表示します。

保存先を指定します。



1 任意のフォルダーを選択します。

2 [OK]をクリックします。

保存先フォルダーを作成していない場合は
[新しいフォルダーの作成]をクリックし、
保存先フォルダーを作成できます。

解像度を指定しよう

- 1 [サイズ指定]を選択します。

1 クリックします。

2 任意の解像度を選択します。

- 2 [実行]をクリックすると、一括解像度変換が開始します。



POINT

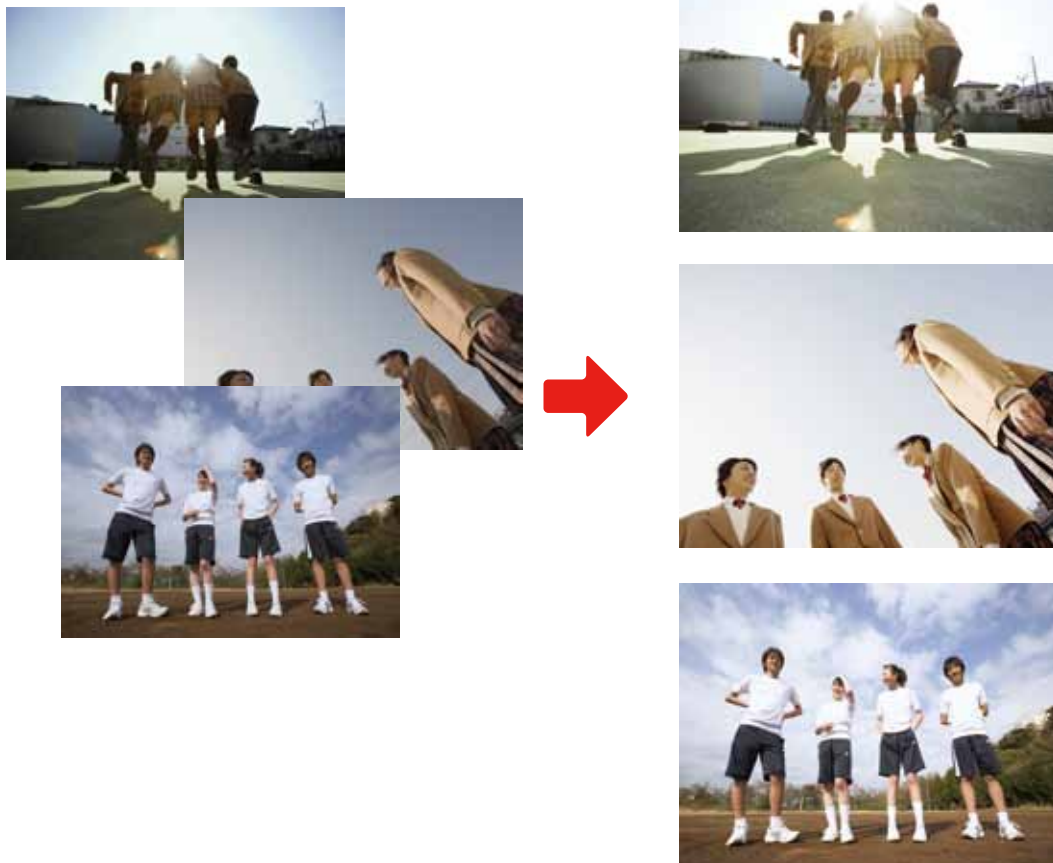
用途に合った解像度を選ぶことでパソコンの負荷が軽減します。



解像度について

詳しい解説はP.161をご覧ください。

▶▶▶ 色味の自動調整



▶ 詳細

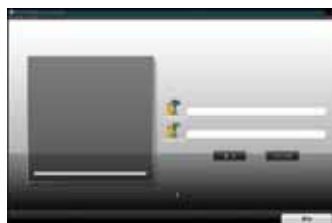
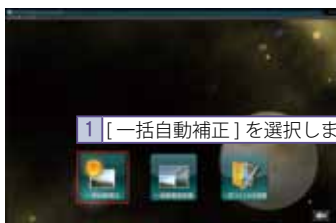
■ 校務効率化

校外学習時の室内で撮影した写真や体育館などで撮影した写真は暗く写ってしまうことが多くなっています。特に体育館での撮影は広いためフラッシュが届かず部分的に明るくなってしまったり、フラッシュの効果があまりありません。

そんなとき、写真全体の明るさとコントラストを一括で自動調整することができる【一括自動補正】は複数の写真を適切な補正值にすることができます。

一括自動補正を選択しよう

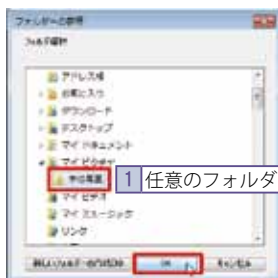
- 1 一括処理から [一括自動補正] を選択します。



入力先フォルダーを選択しよう

- 1 [入力先フォルダー] を選択します。
- 2 [フォルダーの参照] ウィンドウが表示します。

あらかじめパソコンに保存している画像フォルダーを選択します。



- 2 [OK] をクリックします。



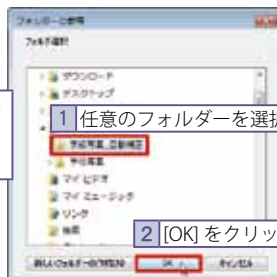
出力先フォルダーを選択しよう

- 1 [出力先フォルダー] を選択します。
- 2 [フォルダーの参照] ウィンドウが表示します。

保存先を指定します。

保存先フォルダーを作成していない場合は [新しいフォルダーの作成] をクリックし、保存先フォルダーを作成できます。

- 3 [実行] をクリックすると、一括自動補正が開始します。



一括ファイル名変換でデータを整理

▶▶▶ ファイル名管理



DSCF0107. jpg



季節の花 001. jpg



IMG_2809. jpg



季節の花 002. jpg



PIC1231. jpg



季節の花 003. jpg

実践の詳細

■ 実践内容と効率化

デジタルカメラによって画像のファイル名が異なり、それらのデータをフォルダ整理するときには非常に時間と手間が掛かります。

そんなとき、ファイル名に固定する文字と連番のスタート番号を決めるだけで、簡単にファイル名変換を行うことができます。

一括ファイル名変換を選択しよう

- 1 一括処理から [一括ファイル名変換] を選択します。



1 [一括ファイル名変換] を選択します。



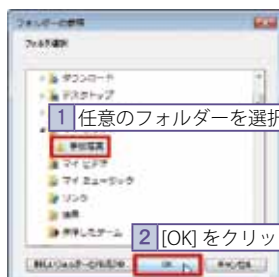
入力先フォルダーを選択しよう

- 1 [入力先フォルダー] を選択します。



[フォルダーの参照] ウィンドウが表示します。

あらかじめパソコンに保存している画像フォルダーを選択します。



1 任意のフォルダーを選択します。

2 [OK] をクリックします。



詳細を選択しよう

- 1 [入力先フォルダー] を選択します。



プレビュー

設定したファイル名を確認することができます。

固定文字

連番の前に付ける固定の文字を指定することができます。

連番

桁数を1桁～8桁まで設定することができます。

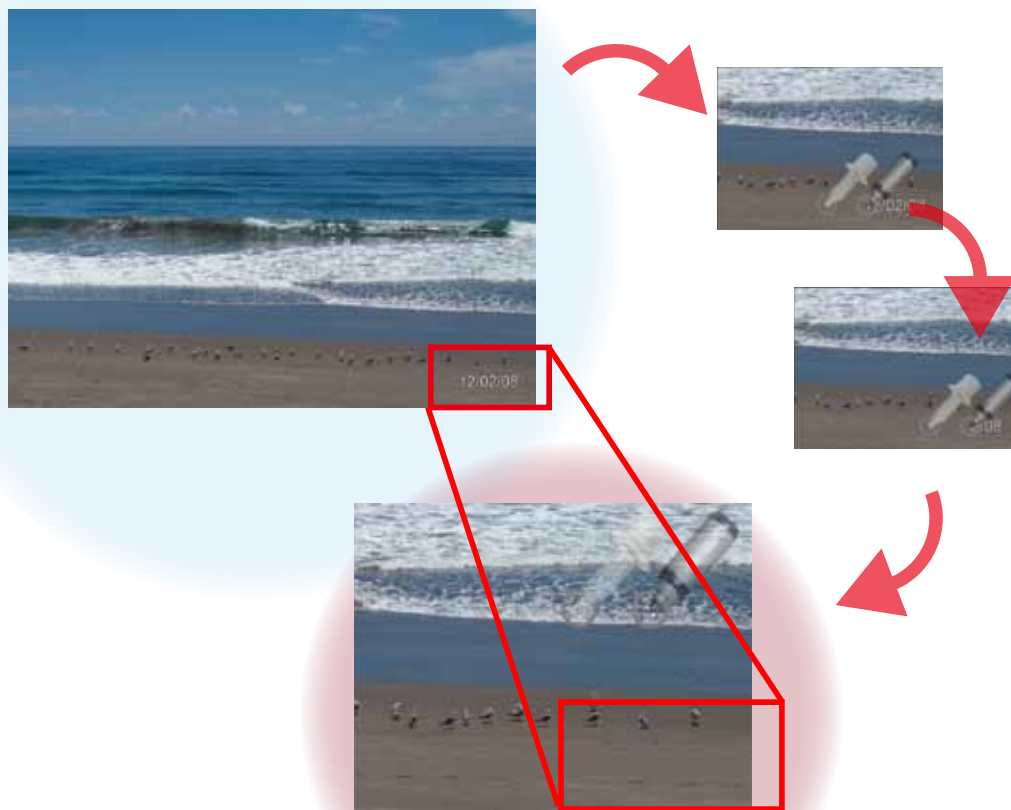
開始番号

連番の開始番号を設定することができます。

ファイル形式

チェックマークを付けた拡張子の画像を対象にファイル名変換をすることができます。

- 2 [実行] をクリックすると、一括ファイル名変換が開始します。



詳細

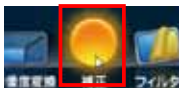
■ 校務効率化

大切なクラスや学年の集合写真に不要なもの（レンズのゴミなど）が写り込んでしまった場合、周辺の似た色で消すことができます。

写真の日付が不要になったときやスキャナーで読み取ったときにゴミ取りにも活用することができます。

画像の日付を削除しよう

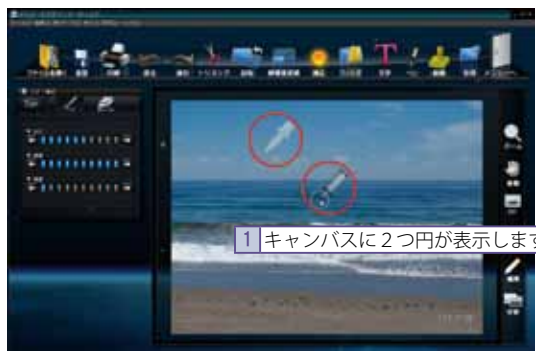
- ① ツールバーの [補正] を選択します。



- ① [コピー修正] を選択します。



- ② キャンバスにマウスポインタを合わせると、2つの円が表示します。



- ① キャンバスに2つ円が表示します。



- A コピー元

スポイトのイラストが付いた円の範囲を読み取ります。



- B コピー先

ペンのイラストが付いた円の範囲へ読み取った部分をペンでなぞるように写真をコピーします。

- ③ キーボードの [Ctrl] キーを押したままにすると [A] の位置が固定されます。[B] の位置が確定したらキーボードから指を放し、消去したい部分を [B] でドラッグします。





▶ 詳細

■ 校務効率化

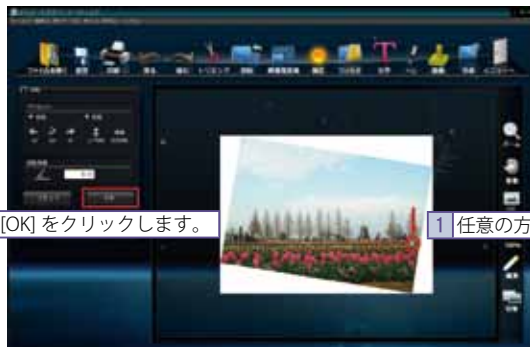
撮影時に足元が悪かったり、三脚でカメラを固定したけど角度がずれてしまうことが多々あります。地平線や学校のグラウンドを撮影した場合、写真が上下に二分されて見えるので角度がずれていると目立ちます。ここでは写真の角度を微調整して写真を正しい角度に整えることができます。

画像を回転して正しい位置にしよう

- 1 ツールバーの [回転] を選択します。



- 2 キャンバスの写真の上にマウスポインタを合わせ任意の方向へドラッグして角度を変えます。

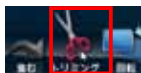


2 [OK] をクリックします。

1 任意の方向へドラッグします。

余分な部分を切り取る

- 1 ツールバーから [トリミング] を選択します。



- 2 コントロールの [領域選択] から [型] を選択します。



1 [領域選択] をクリックします。

2 [長方形] を選択します。

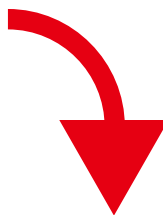
3 [OK] をクリックします。



[2] で選択した型が緑色の点線で表示され、切り抜かれる部分だけ明るく表示されます。

▶ ATTENTION

ドラッグ中は画像がモザイク状になりますが、ドラッグしている指を放すと、元の画像の状態に戻ります。



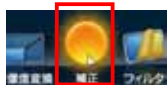
▶ 詳細

■ 校務効率化

太陽やライトの光に向かって撮影をすると、被写体に対する光が少なく暗く写ってしまう（逆光撮影）ことが多いです。大切な瞬間なので光の方向などを考えて撮影することが難しいかと思えます。逆光補正は暗く写ってしまった写真の明るさを調整して適切な明るさにすることができるので、生き生きした生徒の動きをそのまま残すことができます。

補正の種類を選ぼう

- 1 ツールバーから [補正] を選択します。



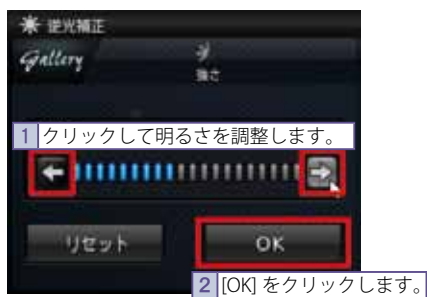
[補正プレセクション]



[補正]-[逆光補正] に切り替わります。

被写体の明るさを調整しよう

- 1 [明るさ] のスライダーを右へ移動すると被写体が明るくなり、左へ移動すると被写体が暗くなります。



[調整前]



[調整後]



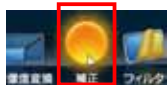
詳細

■ 校務効率化

教室での撮影で暗く写ってしまった写真や、体育祭のときに炎天下の下で撮影した明る過ぎてぼやけ写ってしまった写真を補正することができます。暗くなってしまった写真は [明るさ] を調整し、ぼやけてしまった写真はコントラストを調整してメリハリのある写真にすることができます。

補正の種類を選ぼう

- 1 ツールバーから [補正] を選択します。



[補正プレセクション]



[補正]-[明るさ/コントラスト]に切り替わります。

被写体の明るさを調整しよう

- 1 スライダーを右へ移動すると被写体が明るくなり、左へ移動すると被写体が暗くなります。



- 1 クリックして明るさを調整します。

- 2 [OK] をクリックします。



[調整前]



[調整後]

ホワイトバランスを調整

▶▶▶ 記憶の色味に



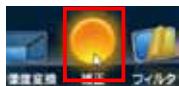
実践の詳細

■ 校務効率化

蛍光灯の下で撮影をするとピンク色っぽく写ったり、青白く写ってしまったりと目で見たと違う撮影結果になることがあります。そんなときに被写体の肌の色や白い部分を基準にして高品位な補正を行えるのが「ホワイトバランス」補正です。色温度や色偏差を自動で認識して写真にとって最適に色味に補正します。

補正の種類を選ぼう

- 1 ツールバーから [補正] を選択します。



[補正プレセクション]

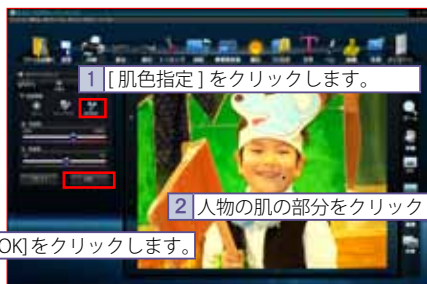


[補正]-[ホワイトバランス]に切り替わります。

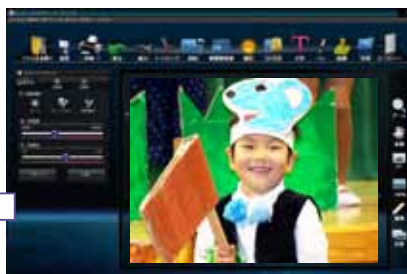
被写体のホワイトバランスを調整しよう

人物

[肌色指定] を選択して人物の [肌] の部分をクリックします。



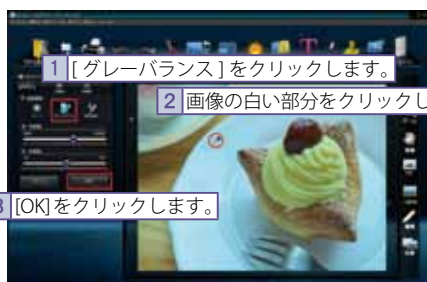
3 [OK] をクリックします。



[調整後]

白を基準

[グレーバランス] を選択して画像の白い部分をクリックします。



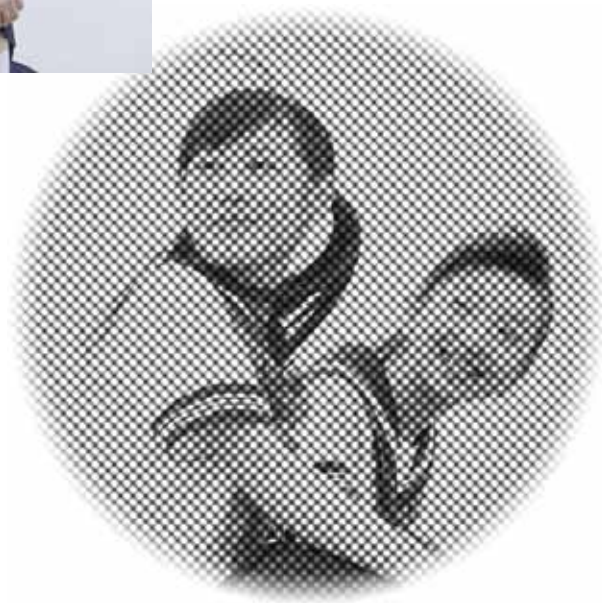
3 [OK] をクリックします。



[調整後]

学級通信・おたより用の写真作成

▶▶▶ 輪転機印刷で写真をキレイに



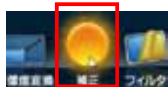
実践の詳細

■ 校務効率化

学級通信や学年便りに使用する写真を作成することができます。写真を強調するために多彩な型で切り抜きを行って印象を与えたり、写真をドット絵にする[網点]フィルタを掛けて輪転機で印刷をするときに画像をきれいに印刷できるようにしました。学校生活の様子をきれいな画像を通じて保護者へ伝えることができます。

画像の補正をしよう

- 1 ツールバーから [補正] を選択します。



[補正プレセクション]



[補正]-[明るさ/コントラスト]に切り替わります。

- 2 コントロールの [明るさ] と [コントラスト] を調整します。



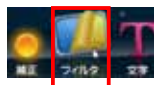
- 3 [OK] をクリックすると効果が写真に反映します。

[補正後]

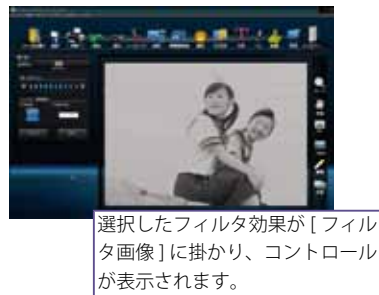


フィルタ効果を掛ける

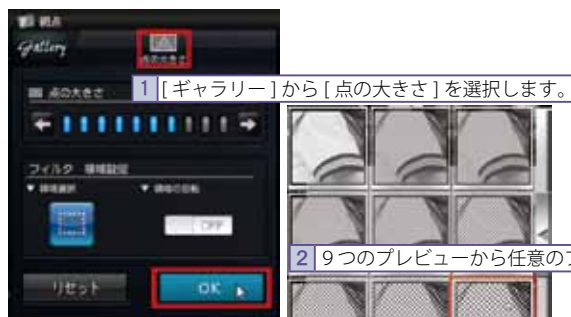
- 1 ツールバーから [フィルタ] を選択します。



- ② [フィルタ選択] ウィンドウに切り替わります。



- ③ コントロールの [点の大きさ] 調整します。



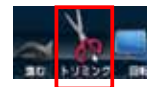
- ③ [OK] をクリックすると効果が写真に反映します。



[ズーム時]

トリミングで写真の形を変えよう

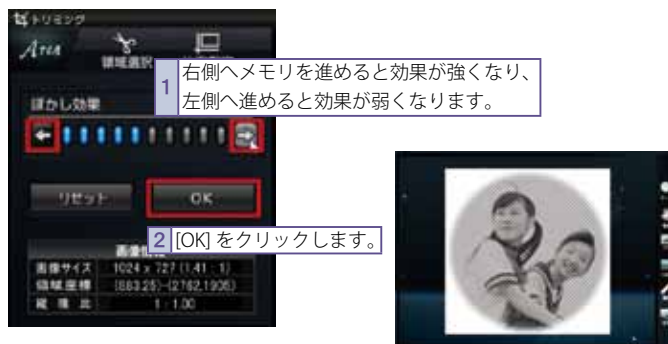
- ① ツールバーから [トリミング] を選択します。



- ② コントロールの [領域選択] から [型] を選択します。

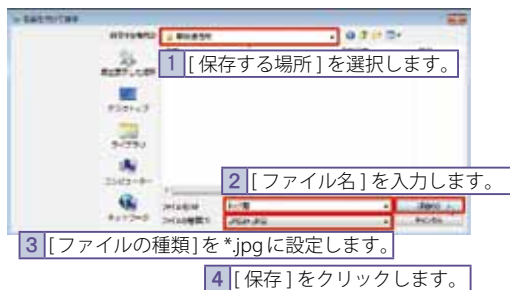


- ③ 切り取り部分の [ぼかし] を設定します。



保存をしよう

- ① ツールバーから [保存] を選択します。



[完成イメージ]





実践の詳細

■ 実践内容と効率化

生徒の修学旅行や課外活動の様子の写真入り掲示物を作成することができます。校内に掲示することはもちろん、ホームページにそのまま掲載することもできるので、学校間の交流や外部へ向けて学校を発信することもできます。

作品モードから [ポスター] を選択しよう

- 1 作品メニューから [ポスター] を選択します。



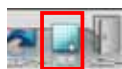
ポスターのレイアウトや写真の枚数を決めよう

- 1 写真を配置する場所と枚数を設定します。任意のレイアウトをサムネイルから選択して [次へ] をクリックします。

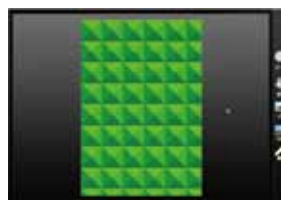


背景を設定しよう

- 1 ツールバーから [背景] を選択して、背景画像を設定します。



- 2 [OK] をクリックします。



文字を入力しよう

- 1 ツールバーから [文字] を選択します。
コントロールが切り替わり、キャンバスに [文字列を入力してください] と表示されます。



- 2 文字の設定を行います。

- 1 文字入力枠内の文字を削除してから文字を入力します。
- 2 フォントを選択します。
- 3 文字の種類を選択します。
- 4 文字の色を選択します。



[文字入力例]

画像を挿入しよう

- 1 ツールバーから [画像挿入] を選択して、画像を取り込みます。

- 1 任意の画像データを選択します。
- 2 クリックします。

※ 画像を複数選択して [開く] を選択すると、選択した枚数の画像をキャンバスへ取り込むことができます。

画像を切り抜こう

- 1 切り抜く画像をクリックして選択します。
- 2 コントロールの[切り抜き]から[楕円]を選択します。



1 [楕円]を選択します。



2 画像が楕円形に切り抜かれます。

レイアウトを整えましょう

- 1 大きさを変える画像または文字をクリックし、選択状態(緑色の点線が表示されている状態)にします。



- 2 四隅の[□]にマウスポインタを合わせ外側に向かってドラッグします。



1 選択した画像が拡大します。

- 3 画像または文字の中央にマウスポインタを合わせドラッグして移動します。



[レイアウトイメージ]

印刷 / 保存をしよう

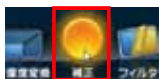
印刷 / 保存方法の詳細は P.30 をご覧ください。
ここでは保存形式を [*JLY] に設定します。

**▶ 詳細****■ 校務効率化**

学校の様子や特別活動の様子を撮影した写真を学校ホームページに掲載することができます。ファイル容量を調整する解像度変換はもちろん、生徒の顔写真や名札がそのまま掲載されることで問題になっている個人情報の保護もフィルタ機能を使うことで万全な形で対応できます。撮りためた写真を余すことなく使うことができるので写真選びを楽しく行うことができます。

補正の種類を選ぼう

- 1 ツールバーから [補正] を選択します。



[補正プレセクション]



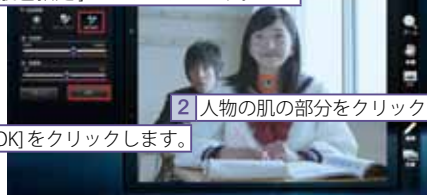
[補正]-[ホワイトバランス]に切り替わります。

被写体の色合いを調整しよう

人物の肌色を基準に調整する便利な方法

[肌色指定] を選択して人物の [肌] の部分をクリックします。

- 1 [肌色指定] をクリックします。



- 2 人物の肌の部分をクリックします。

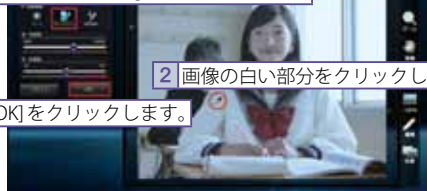
- 3 [OK] をクリックします。



白い部分を基準に調整する便利な方法

[グレーバランス] を選択して画像の白い部分をクリックします。

- 1 [グレーバランス] をクリックします。



- 2 画像の白い部分をクリックします。

- 3 [OK] をクリックします。

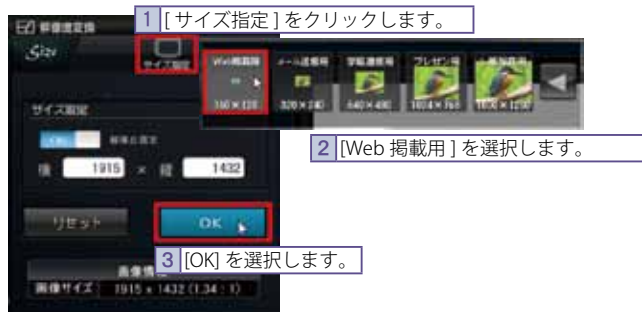


解像度変換でファイル容量を小さくしよう

- 1 ツールバーから [解像度変換] を選択します。



- 2 コントロールの [サイズ指定] から任意の [解像度] を選択します。



掲載許可のない生徒の顔にフィルタ効果を掛ける

- 1 ツールバーから [フィルタ] を選択します。



- 2 [フィルタ選択] ウィンドウに切り替わります。



- 1 [ペン先フィルタ]-[ぼかし] を選択します。

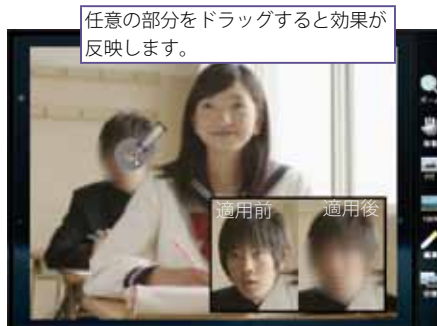
選択したフィルタ効果がコントロールのプレビューに表示されます。



- ③ 描画をするペンの[太さ]を設定します。



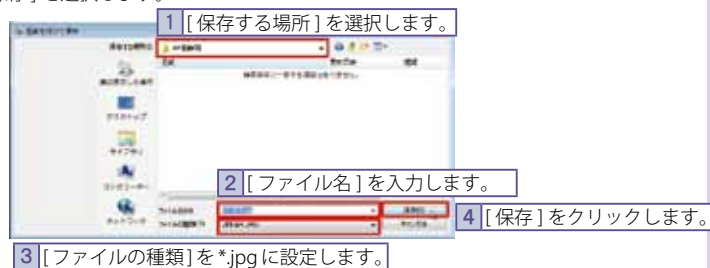
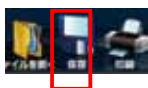
スライダーを右へスライドするとペン先が太くなり、左へスライドするとペン先が細くなります。



- ④ [OK] ボタンをクリックすると、フィルタ効果が確定します。

保存をしよう

- ① ツールバーから[保存]を選択します。



POINT

効果が薄い場合は、[OK] ボタンを選択し、再度設定すると効果が強くなります。



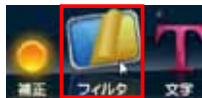
▶ 詳細

■ 校務効率化

学校のコピー機や輪転機で写真入りの資料を印刷すると、インクが塗られた状態で真っ黒になってしまうことがあります。ここでは、そんな色情報をたくさん持った画像をドット絵に変換して、きれいに印刷することができます。操作も非常に簡単なので気軽に使用することができます。

フィルタ効果を掛ける

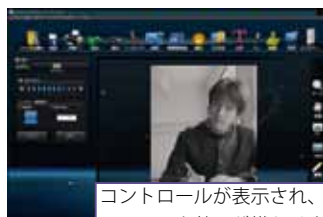
- 1 ツールバーから [フィルタ] を選択します。



- 2 [フィルタ選択] ウィンドウに切り替わります。



- 1 [網点] フィルタを選択します。



コントロールが表示され、画像にフィルタ効果が掛かります。

- 3 コントロールの [点の大きさ] 調整します。



- 1 [ギャラリー] から [点の大きさ] を選択します。

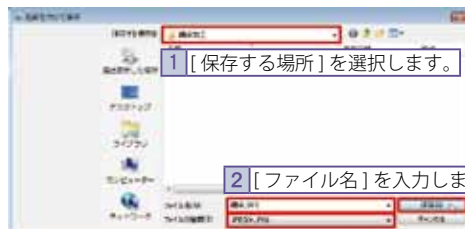
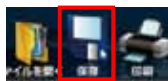


- 2 9つのプレビューから任意の点の大きさを選択します。

- 3 [OK] をクリックすると効果が写真に反映します。

保存をしよう

- 1 ツールバーから [保存] を選択します。



- 1 [保存する場所] を選択します。

- 2 [ファイル名] を入力します。

- 4 [保存] をクリックします。

- 3 [ファイルの種類] を *.jpg に設定します。



〇〇市立ISL中学校

Ichikawa

Taro

市川 太郎

〒261-8501

千葉県千葉市美浜区中瀬1-3

TEL 043-296-8075

FAX 043-296-8079

E-Mail info@isl.co.jp

URL : <http://www.isl.co.jp>



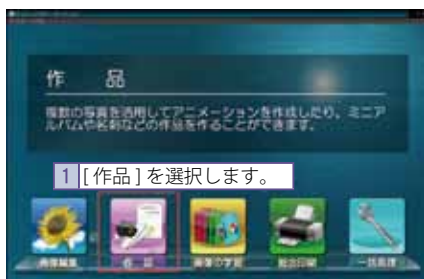
詳細

■ 校務

校務で自分用の名刺が必要なときに、テンプレートを使ってすぐに作成することができます。顔写真や学校写真入りで作成できるので、面談や挨拶のときに即活用できます。必要情報を QR コードに集約できるので先生方がお勤めされている学校のオリジナル名刺をまとめて作ることもできます。

作品モードから [名刺] を選択しよう

- 1 作品メニューから [名刺] を選択します。



名刺のタイプを決めよう

- 1 名刺のタイプを設定します。任意のレイアウトをサムネイルから選択して [次へ] をクリックします。

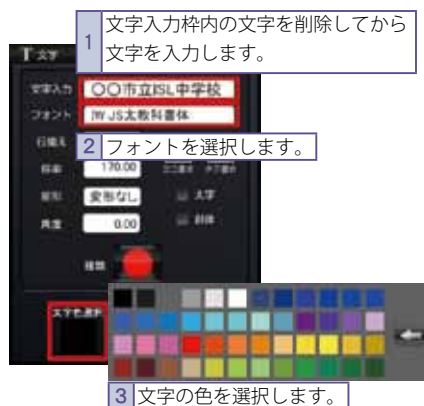


文字を入力しよう

- 1 ツールバーから [文字] を選択します。



- 2 文字の設定を行います。



画像を差し替え入力しよう

- 1 キャンパスのイラストのデータをクリックして選択します。
- 2 コントロールから [画像差替] を選択します。



QRコードを入力しよう

- 1 ツールバーから [QRコード] をクリックして選択します。
- 2 [電話番号][E-Mail][URL] を入力します。



入力すると、キャンパス上の QR コード
に直に入力した情報が反映します。

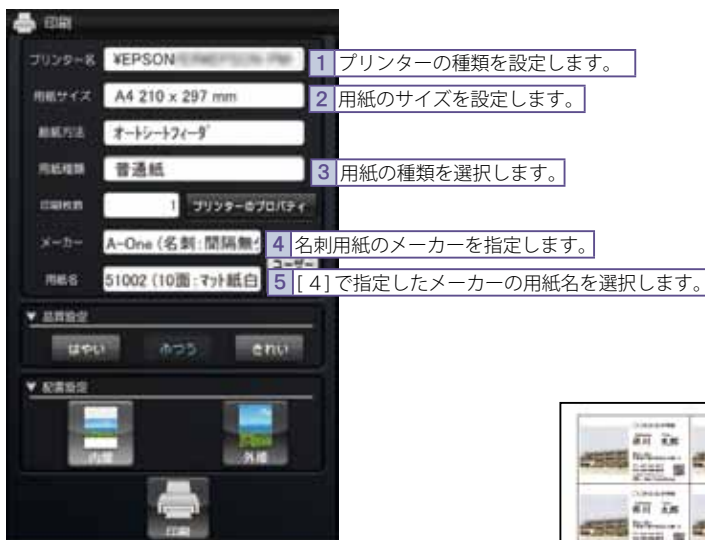


印刷をしよう

- 1 ツールバーから [印刷] を選択します。



- 2 印刷の設定を行います。



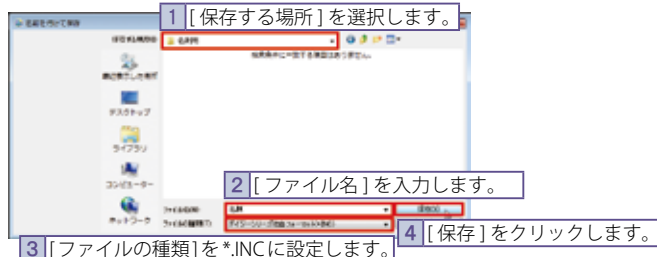
- 6 クリックすると印刷が開始します。



選択した用紙の型に名刺が並んでプレビュー表示されます。

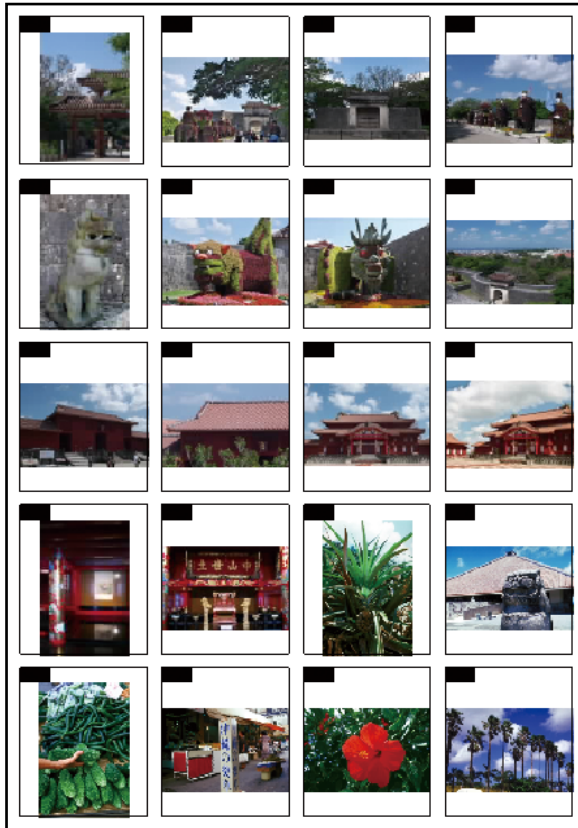
保存をしよう

- 1 ツールバーから [保存] を選択します。



修学旅行の写真インテックス掲示

▶▶▶ 撮った写真を管理



詳細

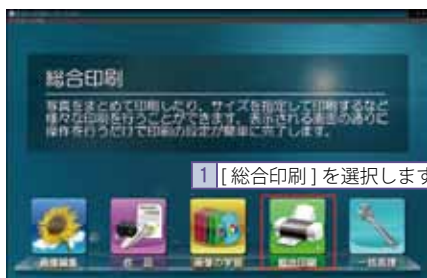
校務効率化

学校行事で撮影した写真を用紙に一覧印刷することができます。番号を振って掲載をすることで、欲しい写真の焼き増しが行いやすくなります。

またデジタルカメラには今まで撮った写真がたくさん保存されているかと思いますが、カメラの紛失やメモリーカードの取り扱いや不具合で大切なデータが消えてしまうことがあります。大事な記録をパソコンやCDに保存したときに、どのフォルダに何の画像が入っているかわからなくなってしまうことが多いかと思いますが、[インデックス]機能を使用すると、写真を小さく一覧印刷できるので、フォルダ名を記載したりCDと一緒に保管することで効率良くデータ管理を行うことができます。

総合印刷モードを選択しよう

- 1 スタートアップスクリーンから [総合印刷] を選択します。



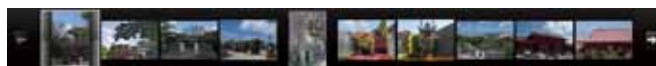
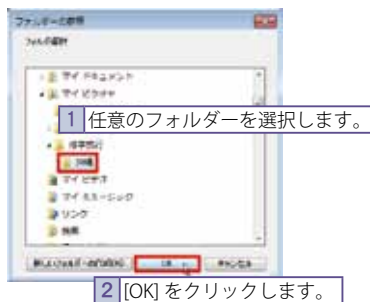
インデックスを選択しよう

- 1 総合印刷から [インデックス] を選択します。



画像を登録しよう

- 1 コントロールの [フォルダ] を選択します。
- 2 [フォルダーの参照] ウィンドウが表示します。
インデックス印刷するフォルダーを指定します。

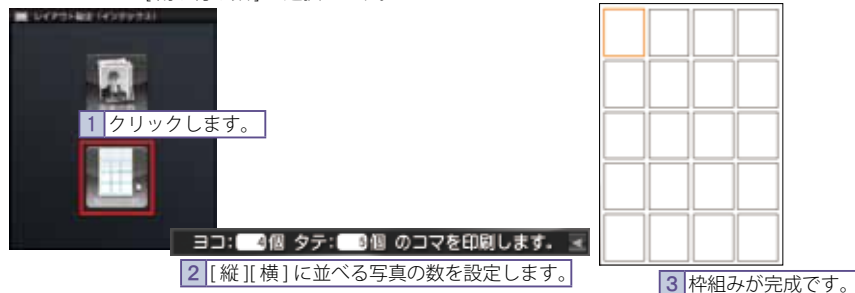


- ③ ナビゲーションバーの[進む]をクリックします。



レイアウトの設定をしよう

- ① コントロールの[割り付け数]を選択します。

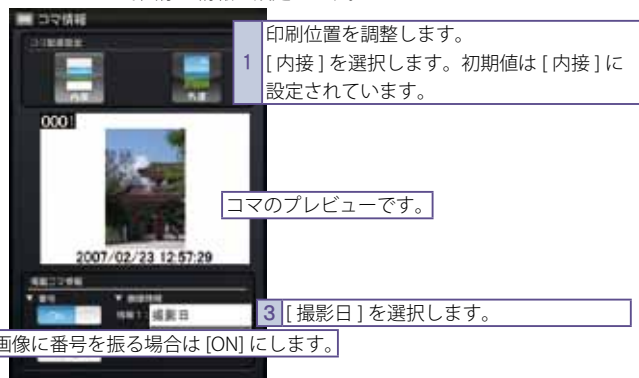


- ② ナビゲーションバーの[進む]をクリックします。



コマ情報の設定をしよう

- ① コントロールで画像の情報を設定します。



- ② ナビゲーションバーの[進む]をクリックします。



画像を配置しよう

- 1 コントロールの [順配置] を選択します。



1 [順配置] をクリックします。



2 登録した画像が配置されます。

- 2 ナビゲーションバーの [進む] をクリックします。



1 クリックします。

印刷をしよう

- 1 印刷の設定を行います。



1 プリンターの種類を設定します。

2 用紙のサイズを設定します。

3 用紙の種類を選択します。

4 クリックすると印刷が開始します。



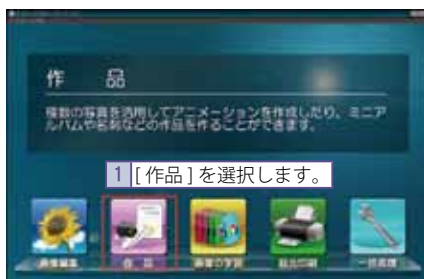
詳細

■ 校務効率化

生徒の写真をスライドショーにしてそのままCDにすることができます。データはデジピクチャーアーティストがインストールされていないパソコンでも再生できるので、卒業式のときに生徒にプレゼントするなど活用する用途はたくさんあります。

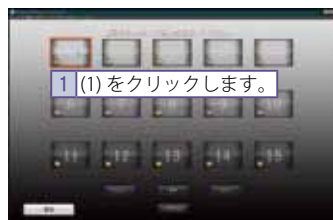
作品モードから [スライドショー] を選択しよう

- 1 作品メニューから [スライドショー] を選択します。



画像を入力しよう

- 1 作成したデータをスライド表示する順番に登録します。



上記の手順でスライドショーに画像を登録します。

スライドショーのプレビューを見てみよう

- 1 [プレビュー]をクリックすると、登録した画像が画面に最大化表示します。



再生画面

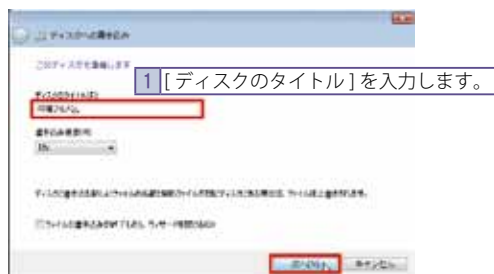
終了



巻き戻し 停止 先送り
巻き戻し再生 先送り自動再生

スライドショーをCDに保存しよう

- 1 パソコンにCDをセットします。
- 2 [CD書き込み]をクリックすると、[ディスクへの書き込み]ウインドウが表示します。



2 [次へ]をクリックします。

[次へ]をクリックすると、CDへの書き込みが始まります。



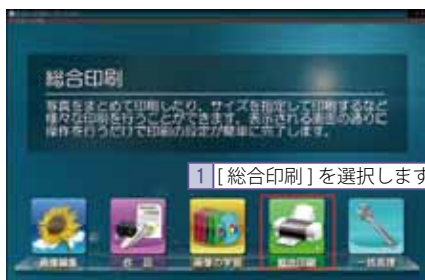
▶ 詳細

■ 校務効率化

先生方の教員免許更新や写真必須の書類を作るときに、サイズを指定した写真を用意するのはとても大変です。ここでは大きさをあらかじめ設定して画像を読み込むだけで簡単に証明書用の写真を作成できます。光沢紙または写真用紙に印刷すると、プロも顔負けの証明写真を作成することができます。

総合印刷モードを選択しよう

- 1 スタートアップスクリーンから [総合印刷] を選択します。



サイズ指定を選択しよう

- 1 総合印刷から [サイズ指定] を選択します。



画像を登録しよう

- 1 コントロールの [ファイル] を選択します。
- 2 [ファイルを開く] ウィンドウが表示します。
サイズ指定印刷する写真を指定します。



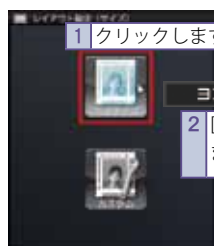
- ③ ナビゲーションバーの[進む]をクリックします。



- 1 クリックします。

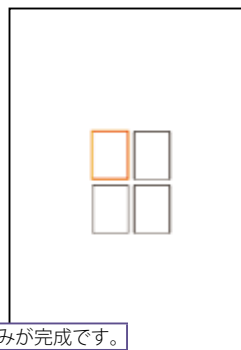
レイアウトの設定をしよう

- ① コントロールの[コマサイズ]を選択します。



ヨコ: 20mm タテ: 20mm のコマを 4個 印刷します。

- 2 [縦][横]のサイズ指定とコマ数を設定します。



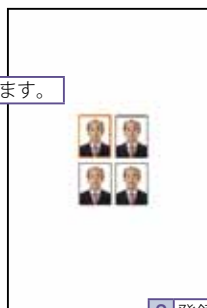
- ② ナビゲーションバーの[進む]をクリックします。



- 1 クリックします。

画像を配置しよう

- ① コントロールの[全配置]を選択します。



- ② ナビゲーションバーの[進む]をクリックします。



- 1 クリックします。

印刷設定をしよう

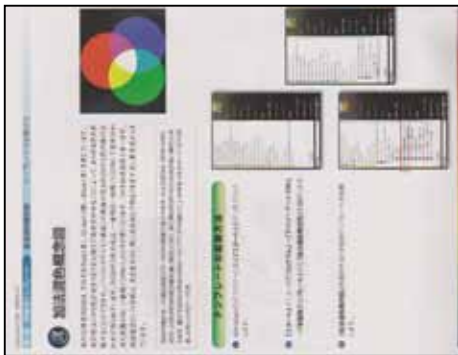
印刷設定の詳細は P.30 をご覧ください。
※今回の例では、用紙サイズを L 版 (タテ 127mm×ヨコ 89mm) に設定することで、周囲の白スペースを最小限に抑えて印刷することができます。



L 版選択時のレイアウト

スキャナーで読み取った資料で教材作り

▶▶▶ デジタル教材



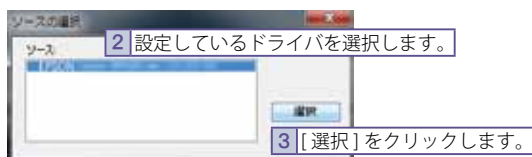
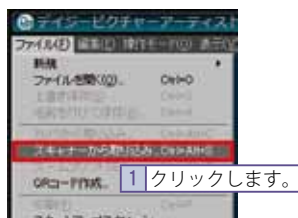
詳細

■ 校務効率化

副教材として学校図書や資料にします。図書館などで借りた本をスキャナーで読み取り、形の調整とゴミ取りを行って資料が完成します。ペンの機能で赤線を引いたり文字入力も行えます。スライドショー機能と合わせて活用すると、板書の時間も短縮されるので授業時間を有効的に活用することができます。

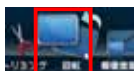
教材をスキャナーで読み取ろう

- 1 メニューバーの [ファイル] から [スキャナーから取り込み] を選択します。

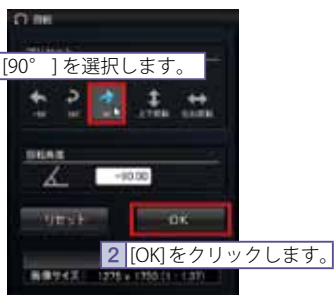


角度を整えよう

- 1 ツールバーの [回転] を選択します。



- 1 [90°] を選択します。



調整前

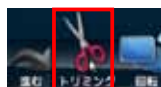


調整後

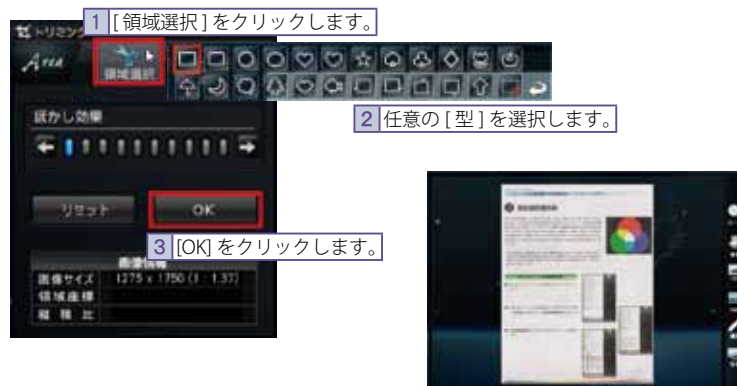


余白を切り取ろう

- 1 ツールバーから [トリミング] を選択します。

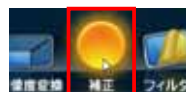


- ② コントロールの [領域選択] から [型] を選択します。

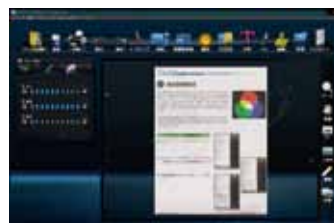


取り込み時に写り込んだゴミを消そう

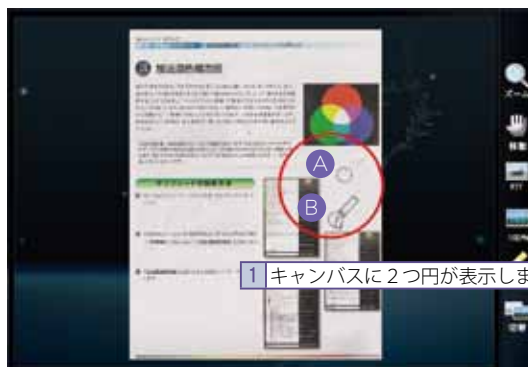
- ① ツールバーの [補正] を選択します。



- 1 [コピー修正] を選択します。



- ② キャンバスにマウスポインタを合わせると、2つの円が表示します。



A コピー元

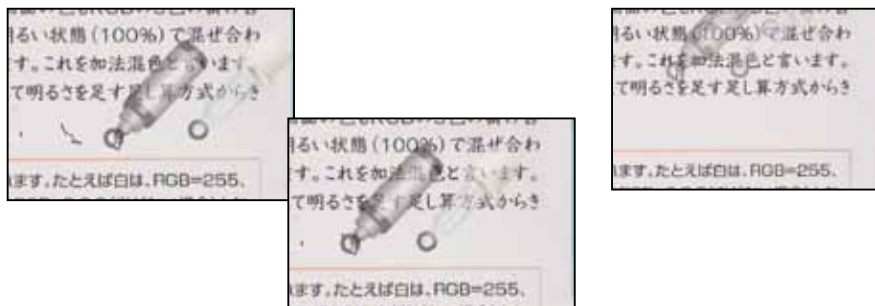
スポイトのイラストが付いた円の範囲を読み取ります。



B コピー先

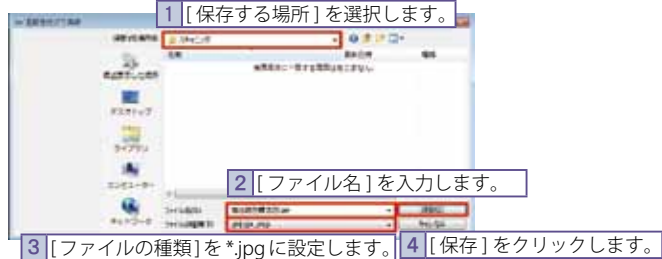
ペンのイラストが付いた円の範囲へ、読み取った部分をペンでなぞるように写真をコピーします。

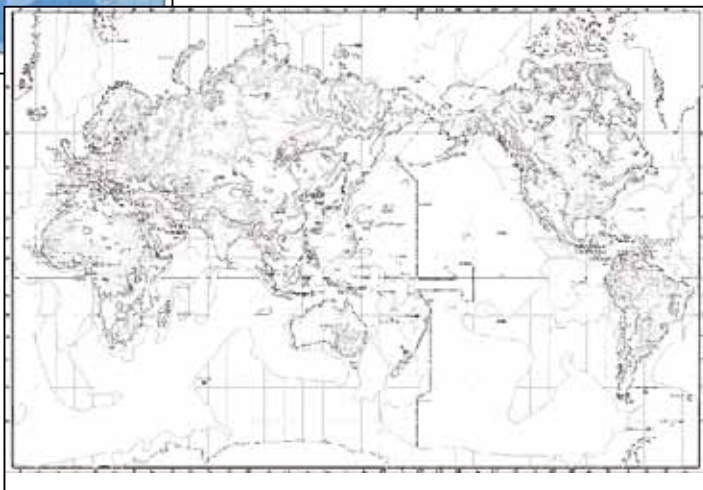
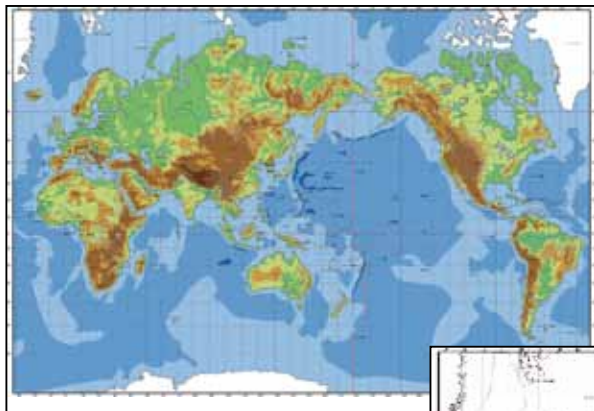
- ③ キーボードの [Ctrl] キーを押したままにすると [A] の位置が固定されます。[B] の位置が確定したらキーボードから指を放し、消去したい部分を [B] でドラッグします。



保存をしよう

- ① ツールバーから [保存] を選択します。





詳細

■ 校務効率化

歴史や地理の授業で活用できる白地図を作成します。地図のイラストはフリー素材も活用できますが、授業で活用している地図帳が必要なページだけスキャナーで読み取り画像データにして使用することもできます。授業中のプリントやテスト問題にも活用できます。

※ 学校で使用する著作権の範囲内で活用してください。

フィルタ効果を掛ける

- 1 ツールバーから [フィルタ] を選択します。



- 2 [フィルタ選択] ウィンドウに切り替わります。



- 3 コントロールの [線幅] 調整します。

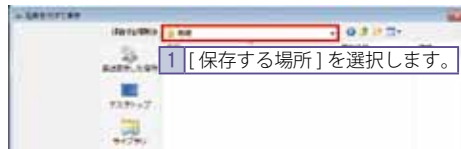
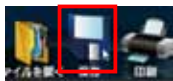


完成



保存をしよう

- 1 ツールバーから [保存] を選択します。



2 [ファイル名] を入力します。

3 [ファイルの種類] を *.jpg に設定します。

4 [保存] をクリックします。



詳細

■ 校務効率化

授業で活用できる Web ページを画像データにして利用できます。電子黒板に表示して授業を行うことで、新たに先生方が他のアプリケーションを使って資料をまとめて配布するより授業の準備時間も減り、電子黒板を使用することで生徒が授業に集中する傾向があります。

※ 学校で使用する著作権の範囲内で活用してください。

画面キャプチャーを撮ろう

- 1 教材にする Web ページを開き、必要ページを画面の中央に表示します。
- 2 キーボードの [PrintScreen] キーを押します。



デジピクチャーアーティストを起動しよう

- 1 [スタート]メニューから [デジピクチャーアーティスト] を選択します。



- 2 下記ウインドウが表示され、デジピクチャーアーティストが起動します。



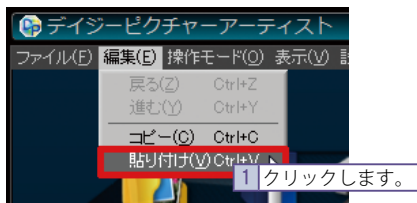
画像編集モードを選択しよう

- 1 スタートアップスクリーンから [画像編集] を選択します。



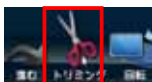
データを貼り付けよう

- 1 メニューバーの [編集] から [貼り付け] を選択します。



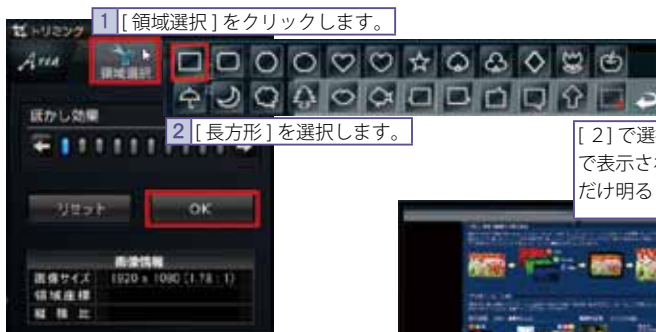
トリミングで画像の形を変えよう

- 1 ツールバーから [トリミング] を選択します。



[トリミング] に切り替わります。

- 2 コントロールの [領域選択] から [型] を選択します。



[2] で選択した型が緑色の点線で表示され、切り抜かれる部分だけ明るく表示されます。



保存をしよう

- 1 ツールバーから [保存] を選択します。

